



事務局ニュース

No. 118

日本ボーイスカウト
愛媛県連盟

今治地区団運営研修会

< 今治地区 > 8月4日(金) 今治市トラクターミナル

講師：トレーニングチーム ALT 橋 隆志

<研修目標・内容>

1 団の位置付けと団組織を知る。

- ①団とは ②団その構成 ③団の定義 ④団組織は(スカウト教育の運営する単位を団)
⑤スカウト教育 ⑥団の位置付け ⑦隊について ⑧隊におけるスカウトの役務
⑨隊指導者について ⑩団指導者について

2 団の運営の概要について知る。

- ①団における会議(団委員会)(団会議) ②団委員会とその構成について ③団委員会の任務
④団委員長について ⑤団会議について ⑥団委員会と団会議の連携
⑦団運営はスカウト活動への支援

3 団の育成会の関係について知る。

- ①育成会について ②育成団体の役割・任務について

<講演を聞いた後の参加者の意見・感想>

- ・ 自分の団は、基本ができていない。反省すべきは反省し、組織としてのまとまりができるよう、微力ながら取り組んでいきたい。
- ・ 若い指導者の育成を図る上で、団組織を見直したい。
- ・ 団委員の研修の方が、リーダー研修よりも重要である。
- ・ 会計担当として、魅力あるプログラムに役立てたい。
- ・ まず始めに団委員になるように声を掛ける。(保護者に対して)
- ・ 活動を活発にやっている。スカウトも少しずつ増えている。
- ・ 保護者と連携を取り合って活動している。
- ・ 各団とも団会議と団委員とが混ざっていて、組織が機能していない。今回の研修会をとおして、いかに、団委員会、団会議が重要性が分かった。その重要性を分かっていたかのために、会議への参加を呼び掛けていきたい。また、保護者に対して、団委員になるように勧めていきたい。
- ・ 定型訓練である団委員研修所に参加してもらい、団委員としてどうあるべきかを考えていただけるようにしていきたい。
- ・ 団の運営について、トレーニングチームから指導していただくことで、改めて団運営が大切かを感じるよいきっかけになった。団組織の見直しを図り、活性化できるように取り組んでいきたい。



地域行事賛助 ～石鎚登山ロープウェイ火起こし体験イベント～

8月11日（金）山の日、西条第12団が石鎚登山ロープウェイの火起こし体験イベントで賛助出演しました。

夏休み中ということもあり、家族連れで火起こし体験をしていただきました。顔を真っ赤にしながら舞割り火起こし器を回す子どもたち。それを応援する父母、祖父母。火が起こった時、自然と拍手が起こり、子どもたちはうれしそうな表情をしていました。

また、ボーイスカウトの活動にも興味をもっていたいただいた保護者の方もおられ、活動について質問されていました。

このような機会を大切に、ボーイスカウト運動を知っていただくようにしていきたいと思えます。



火起こし体験中

